

Social

イノベーション・マネジメント サマリー

基本的な考え方

Daigasグループにとって、技術は企業競争力のベースであり、研究開発は最も重要な企業差別化戦略の一つであると考えています。また、デジタル技術を積極的に事業に取り組み、革新的なサービス創造やデータマネジメントの進化、業務プロセスの改革が、事業競争力の向上につながると認識しています。

当社グループは、近畿圏において都市ガスを安定的に供給しながら、お客さまの快適な暮らしやビジネス発展につながる様々な新技術の研究開発、実用化に取り組むことで、周辺分野にも事業を広げ、地域とともに発展してきました。今後も環境や社会に配慮した持続可能な開発と成長を実現するため、様々なステークホルダーと協働しながら新しい価値を創造し、多様なメニューや新技術をお客さまに提供していきます。

なお、「中期経営計画2026」においては、「健全でしなやかな経営基盤の維持・向上」「お客さまの価値観に寄り添う先進的で多様なソリューションの共創」をマテリアリティに位置づけ、取り組みを加速させていきます。

テーマ	取り組み事項	具体的な取り組み				
デジタルトランス フォーメーション(DX) による事業変革 ↳P.071	・新サービスの創造 ・業務プロセスの変革 ・DX推進体制の強化	方針・推進体制 社会や働く環境の激変、お客さまの価値観が変化するなかで価値を提供し続けるため、「変わり続けられる企業グループ」を目指しています。進めざましいデジタル技術を積極的に事業に取り込み、新サービスの創造による価値提供と業務プロセスの変革による生産性向上をともに加速させます。 2022年4月には経営企画本部にDX企画部を設置し、全社委員会「DX推進委員会」にてDaigasグループ全体のDX推進に関し、組織横断的な調整・推進を行っています。 2024年度は事業人材とデジタル人材一体のチームでお客さま体験と業務プロセスの両方を変革する取り組みや、仕事の進め方変革の取り組み「Daigas X(Daigas トランスフォーメーション)」などに取り組みました。 2024年度実績 ・新たな顧客体験の創出 ・従業員価値の変革「Daigas X(Daigas トランスフォーメーション)」 ・SaaS、生成AIの導入による業務変革の取り組み ・DX人材の育成(DX中核スタッフ243人) <table><tr><th>マテリアリティに基づくKPI</th><th>2024年度マテリアリティ実績</th></tr><tr><td>DX中核スタッフ人材の確保</td><td>243人</td></tr></table>	マテリアリティに基づくKPI	2024年度マテリアリティ実績	DX中核スタッフ人材の確保	243人
	マテリアリティに基づくKPI	2024年度マテリアリティ実績				
DX中核スタッフ人材の確保	243人					
研究開発・知的財産 ↳P.074	・カーボンニュートラル実現に資する技術・研究開発 ・エネルギーの安定供給・保安の確保のための技術開発 ・新規ビジネス創出のための研究開発 ・知的財産権の確保および活用	方針・推進体制 カーボンニュートラル社会の実現を目指し、エネルギーの安定供給・保安の確保はもちろんのこと、新規ビジネス創出のための技術・研究開発を推進します。技術開発にかかわる規程等に基づき、技術開発の実施の判断、およびテーマの重要度に応じた適切な予算配分を行うとともに、実施時における進捗のフォローを実施しています。 2024年度実績 ・カーボンニュートラル実現に向けメタネーションをはじめとする研究開発を推進 ・保安の確保・向上のための技術開発、新規ビジネス創出のための研究開発を継続推進 ・事業戦略、技術開発戦略と連携した知的財産権の確保および活用 ・東京大学先端科学技術研究センターとの将来の社会課題解決に向けた包括連携の開始 ・天然由来ケトン体「OKETOATM」、抗菌抗ウイルス材「TioCleanTM」の事業化推進				
	新規事業創出 ↳P.075	・Daigasグループ独自技術の事業化 ・多様なパートナーとの連携による新規事業開発	方針・推進体制 Daigasグループが培ってきた技術を活用した事業化に取り組むとともに、他社の技術・サービスと当社グループの強みを掛け合わせ新たな事業の創出を図り、グループの収益増加を目指すとともに社会課題解決に貢献します。2024年度からは、事業創造本部の新規事業創出機能をさらに強化し、各組織・社外のステークホルダーとの共創による新規事業創出に取り組みました。 2024年度実績 ・大阪ガスの技術やニーズと外部の技術やアイデアを積極的に融合・活用する「オープン・イノベーション活動」を推進 ・カーボンニュートラル関連(天然水素、次世代集光型太陽熱)での新たな事業創造としてスタートアップ企業2社への出資 ・パートナーとEV関連事業等の新規事業創出 等 <table><tr><th>マテリアリティに基づくKPI</th><th>2024年度マテリアリティ実績</th></tr><tr><td>イノベーションの推進</td><td>低・脱炭素化やインフラのメンテ効率化に寄与する新サービス等の社会実装</td></tr></table>	マテリアリティに基づくKPI	2024年度マテリアリティ実績	イノベーションの推進
マテリアリティに基づくKPI		2024年度マテリアリティ実績				
イノベーションの推進	低・脱炭素化やインフラのメンテ効率化に寄与する新サービス等の社会実装					
	マテリアリティ 健全でしなやかな経営基盤の維持・向上					
	マテリアリティ お客さまの価値観に寄り添う先進的で多様なソリューションの共創					